

7 運転する前に

(1)各部の点検

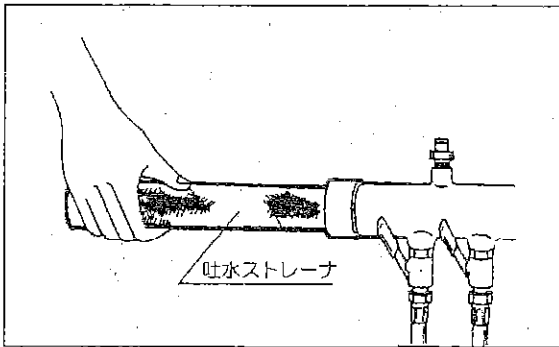
- ① 各部締め付け部(ボルト、ナット、ピン、ホース接続部等)の緩みがないか点検します。



● 特に吸水ホース接続部の緩みは、ポンプの吸水不良や異常音発生を引き起こし、破損につながります。

- ② 配管ホースに詰りや破損及びよじれ等がないか点検します。
- ③ 給水ストレーナ、吸水ストレーナ、分水器内のストレーナ、薬液タンク入口のコシアミ等にゴミが詰まってないか点検、清掃します。

No.		チェック
1	吸水ストレーナ	
2	給水ストレーナ	
3	タンクコシアミ	
4	分水器吐水ストレーナ	

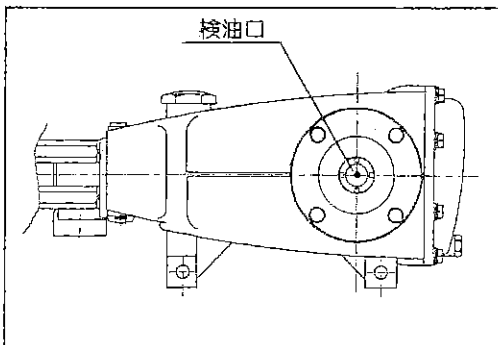


(2)各部の給油

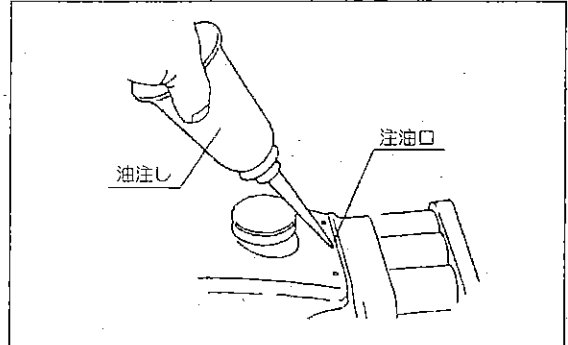
① 噴霧用ポンプ

(イ)クランクケースにオイルゲージ(検油口)の赤点までオイルが入っているか、又汚れたりしてないか確認します。

- ◇使用オイル : モービル油 SAE10-W30
- ◇容量 : 2.4L
- ◇オイル交換 : 初回 ……50 時間目
- : 2 回目以降 ……100 時間毎

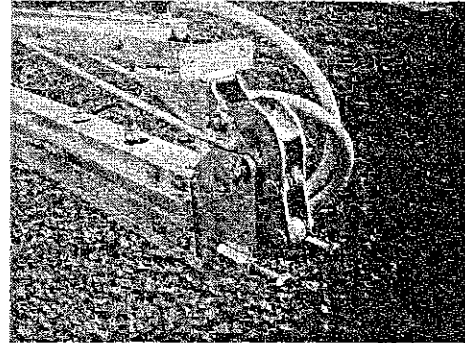


(ロ)クランクケースのシリンダ取付け部にある 3 個の注油口に油差しでモービル油(毎始業時)を数滴注油します。

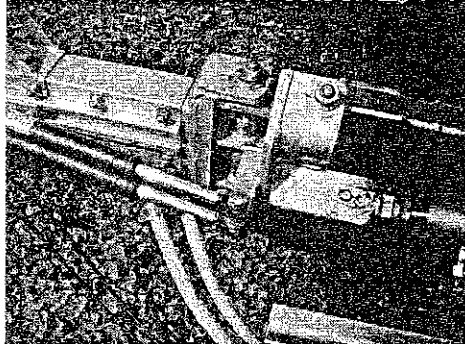


- ② グリスニップル取付け部へグリスを注入します。(20 時間毎に適量)

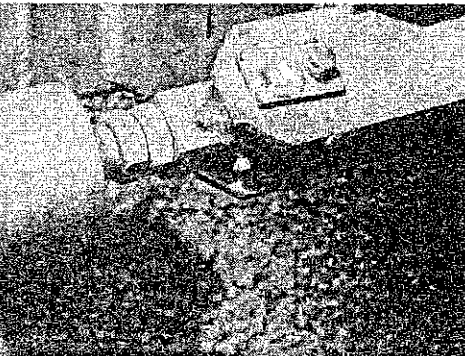
・ブーム先ヒンジ部 : 左右各 3 ヶ所



・ブーム元ヒンジ部 : 左右各 4 ヶ所

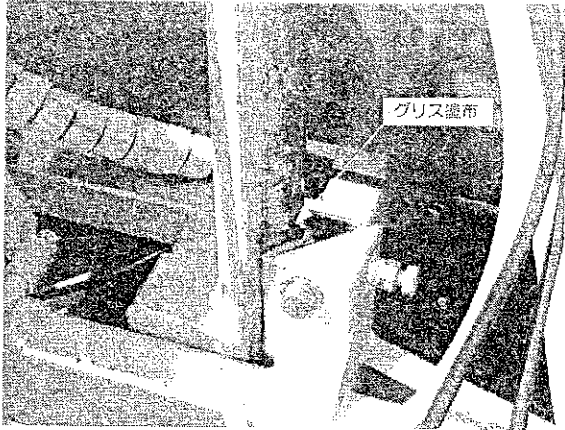


・ブーム元シリンダ : 左右各 2 ヶ所



・昇降シリンダ : 2 ヶ所

- ③ 水平昇降レールにグリスを塗布します。(20 時間毎に適量)

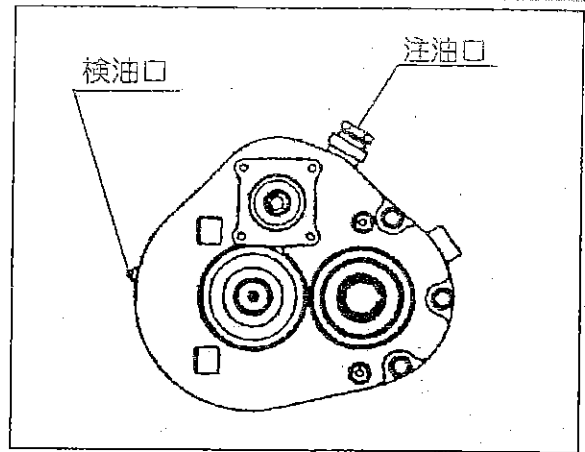


- ④ 油圧オイルの油量を点検します。少ない場合は補充します。汚れている場合は交換してください。

- ◇使用オイル :タービン油#90(ISO VG32)
- ◇容量 :5 L
- ◇オイル交換 :初回 ……50 時間目
- :2 回目以降 ……2 年毎

- ⑤ 増速機ギアケースの外部に油が漏れていないか確認します。またオイルは定期的に交換してください。

- ◇使用オイル :ギアオイル SAE90
- ◇容量 :1.4 L
- ◇オイル交換 :初回 ……50 時間目
- :2 回目以降 ……600 時間毎



注意

- 増速機の検油口を開き、注油口からオイルを注入します。検油口からオイルがあふれたら、規定量注入できています。多すぎると注油口フリースーよりオイルが吹き出る事があります。

注意

- 上記の油類の種類、交換時期は厳守してください。機械の寿命が短くなることがあります。
- 油量はゲージでチェックし、補充する場合は上のレベルに合わせるようにしてください。油量は多過ぎても少な過ぎても機械に悪影響を及ぼします。
- ブームの動きが遅くなったり油圧機器類からの異音、振動などが生じた場合は、目詰まりしている可能性があります。その時は都度交換、清掃するようにしてください。

8 給水

(1)給水設備のある場合は、タンクに必要な量の水を入れます。

(2)給水設備のない場合は、付属の給水ホースを使用します。

- ① 給水ホースを吸水 3 方コックのジョイントに接続し、ストレーナを水源に投入します。
- ② 本機のメインコックを排圧(停止)側にして、吸水 3 方コックを給水側にします。

